

【学習支援について】

履修指導については、本学では Semester 制をとっていないため、年度初めに1年間を通しての履修と登録の指導を行っている。履修登録はあくまでも学生本人の責任ではあるが、選択科目のガイダンスや履修登録のエラー修正などの細かな指導を行っている。

学習上の問題、悩み等に対する指導助言のための取組みとして、全学年でクラス担任制をとり、教員同士が連携を図りながら、学生の日ごろの様子や変化についてきめ細かく情報収集し、必要に応じた対応をする体制をとっている。個人面談を重視し、日ごろの生活上の悩みや、進路、学費等の経済的な問題等、幅広いフォローが可能である。また、専任教員は、学生が相談のため自由に研究室を訪問できる「オフスアワー」（週1回、通常5時限目）を設定しており、学生が気軽に教員を訪問できる環境を整えている。

【学生生活支援について】

学生生活を支援する組織や体制として、学生委員会、保健委員会、およびクラス担任制がある。

学生委員である教員は、主に学生指導、学友会活動への指導と助言、学生相談を通して明るく、楽しい、安心できる学生生活をサポートしている。

保健委員である教員は、学生の健康管理に努め、定期健康診断の事前計画・準備・実施後の学生のケアを担当し、校医及び保健所の指示に従い、学生の健康管理に努めている。

【進路支援について】

1. 組織として「キャリア支援部」がある。

「キャリア支援部」で小学校教諭や保育関係（幼稚園、保育所、児童施設など）、企業を希望する学生への支援を行っている。

一方、進学希望者への支援や学外実習、インターンシップのフォローまた教員採用試験の対策として教員が課外にも講座を開設し、支援を行っている。

2. キャリア支援部の役割

- ・個人カードに基づき個人面談を行い、進路希望の考え方、就職希望先を把握する。
- ・カタログやパンフレット、過去の受験報告書等での情報提供、またインターネットによる検索を学生が自由に行える。
- ・「求人票」を学内に掲示、進路指導室にもファイルして気軽に閲覧できる。
- ・受験のための履歴書の記入方法、筆記試験、作文、小論文等の対策指導をしながら面接しどうも行う。
- ・日々学生と面談を行い、相談、希望を受けて、アドバイスを重ねながら学生一人ひとりに細かくサポートする。
- ・就職ガイダンスでは学生の就職に対する意識の動機付けや意欲の高揚を図る。
- ・進路に関する各種証明書の発行を行う。